

林産



●部門: 林産
●受賞者: 林野関係 竹川 尚樹
●受賞地: 静岡県富士宮市
●出品物: 縁取(林産)

竹川氏は、500haを超える山林と30haの農地を擁して、林業と農林文化の継承を目的とした地域振興活動に力を入れている。ヒノキ人工林を中心に防虫剤や機械導入による低コストな利用可能な森林経営を行っています。また、キリンや鹿等の観光動物とエコーポイントの設置を併せて行っており、これにより、木材価格の変動に大きく影響を受けずに一定の収益を確保し、林業からの安定した所得や安定した雇用が実現しています。取組む林業経営のモデルは、林業と観光の両輪による多様な機能を果たすこと。林業と観光の両輪による多様な機能を果たすこと。林業と観光の両輪による多様な機能を果たすこと。

林野関係天皇杯受賞者

また、今年で50回目を迎えた同祭の半世紀に及ぶ歩みがパネル展示されました。農林水産関係団体のコーナーでは、農林水産物の即売、試飲・試食のほか、

「食べて応援しよう!」の取組、国際森林年の主旨、「木づかい運動」の活動等が紹介されました。

農業水産分野で顕著な功績をあげられた農林水産祭天皇杯受賞者の業績が展示されたほか、政府の特別展示では、震災復興に向けた

11月4、5日の両日、平成23年度農林水産祭「実りのフェスティバル」が東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催されました。

秋本番!

「実りのフェスティバル」

日曜大工教室、乗馬体験等も行われ、大工教室には開場と同時に人が殺到していました。

会場内では、都道府県ごとのブースが設けられ、各地の農林水産業の紹介や郷土特産物の展示、即売などが行われました。また、震災被災地復興支援コーナーも設けられ、多くの来場者が被災地の一日も早い復興を願って特産物を求めていました。



日曜大工教室



盛況な都道府県ブース



天皇杯受賞者の業績



政府特別展示



政府特別展示

震災被災地復興支援コーナー



東日本大震災
被災地復興支援コーナー
＜農林水産省 / (財) 日本農林漁業振興会＞